**UNIT 4**

１ When I was in my early twenties, / it was surprisingly difficult for me to separate / what I wanted for myself / and what others wanted for me. // I know / this is true for many of my students as well. // They tell me / they’re getting so much “guidance” from others / that they have a tough time figuring out / what they want to do. // I remember clearly / that I sometimes had the urge to quit or to avoid things / that others strongly encouraged me to do. // By doing this, / I could have the space / to figure out what I wanted, / independent of what they wanted for me. // For example, / I started graduate school at the University of Virginia / right after I graduated from the University of Rochester. // My parents were thrilled. // They were so proud of me / and were comforted / that my path for the next few years was set. // But after only one semester of graduate school / I decided to take a break and go to California. // The hardest part of the entire process / was telling my parents / I was taking a leave of absence. // My decision was extremely hard for them. // I appreciated their support and encouragement, / but it made it difficult for me to truly know / if being in school was the right decision for me. // I drove across the country to Santa Cruz / with no idea of what I was going to do next. //

私は20代初めの頃　　　　　　　　　　　　　　　　　　　区別することが驚くほど難しかった

自分が望んでいることと　　　　　　　　　　他人が私に望んでいることを　　　　　　　　　　　　　私には分かる　私の学生の多くにとってもこれはあてはまることだと　　　　　　　　　　　　　彼らは私に話す　　　　彼らは他人からあまりにもたくさんの「指導」を受け過ぎて

　　　　　　　　　　　理解するのに苦労していると　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　自分が何をしたいのかを　　　　　　　私ははっきりと覚えている　　　　　　自分がときどき，やめたり避けたりしたいという衝動を感じたことを　　　　　　　　　　　　　　他人が私にするように強く勧めたことを　　　　　　　　　　　　　　　　　これをすることによって　　私は自由な時間をもつことができた　　　自分が望むことを理解するための　　　　　　　　彼らが私に望んでいることとは関係なく　　　　　　　　　　　　　　　 たとえば

　私はバージニア大学の大学院へ行き始めた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ロチェスター大学を卒業したすぐ後に

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私の両親はわくわくしていた　　　　　　　 　彼らは私をとても誇りに思っていた　　　　　そして安心していた　　　　　　　その後数年の私の進路が決まったことに　　　　　　　　　　　　　　　　　　しかし大学院のたった１学期が終わった後　　　　　　　　　　　　　　　　　　私は休みをとってカリフォルニアへ行くことを決意した

　その全過程のうち最も厄介だった部分は　　　　　　　　　　　　　　両親に伝えることだった　　　　　　　　　休学することになっていることを　　　　　　　　　　　　私の決心は彼らにとってとてもつらいものだった　　　　　　　　　　　　　私は彼らの支援と励ましをありがたく思っていた　　　　　　　　　　　　　　　　　しかし，それは本当の意味で私が知ることを難しくした　　　　　　　　　　学校にいることが自分にとって正しい決断なのかどうかを　　　　　　　　　　　　私はサンタクルーズまで車で国を横断した

自分が次に何をやるのかまったくわからないまま

ふり返ると　　　　　　　　休学したことは　　　　　　　　　　　　　　　　　素晴らしい選択だったとわかった

サンタクルーズでの私の時間は　　　　　　　まったく体系化されていなかった　　　　　　　　　　　私は風に舞う葉のような気分だった

　　　　　　どんなことにも覚悟ができていて　　 それはわくわくするもので，恐ろしくもあった　　初めてだった　　　　　　　　　　　　特定の課題も，はっきりした目標も，明確な計画もないというのは　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　緊張したこともしばしばあったが　　　　　　それは完璧な方法であった　　　　　　　　認識するための　　　　自分が本当にやりたいことを

　私は臨時の仕事に就いた　　　自活するために　　　　　　　　　　　　　　　そして浜辺で考えごとをして多くの時間を過ごした

　　　　　　　　　　　しばらくして　　　　　　　私はカリフォルニア大学サンタクルーズ校の生物学図書館に通い始めた

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　神経科学の研究の最新動向についていくため　　　　　　　　　　　　最初は　　　　月に一度だった　　　　　　　それから週に一度　　　そして毎日になった

サンタクルーズで約9か月が過ぎた後　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私は研究室に戻る準備はできた

２ Looking back, / taking a break from school / turned out to be a great choice. // My time in Santa Cruz / was completely unstructured. // I felt like a leaf in the wind, / ready for anything. // It was exciting and scary. // It was the first time / I didn’t have a specific assignment, a focused goal, or a clear plan. // Although often stressful, / it was the perfect way / to figure out / what I really wanted to do. // I took odd jobs / so I could support myself / and spent a lot of time thinking at the beach. // After a while / I started going to the University of California at Santa Cruz’s biology library / to keep up on neuroscience research. // At first / it was monthly, / then weekly, / then daily. //

３ After about nine months in Santa Cruz, / I was ready to get back into the laboratory, / but not ready to go back to graduate school. // With that objective, / I tracked down a list of the neuroscience faculty members / at Stanford University, / which was not far away, / and wrote each one a letter. // I told them / about my background / and asked if they had a research job for me. // Over the next few weeks, / I got letters back from all of them, / but no one had an open position. // However, / one faculty member passed my letter on, / and I received a call / from a professor in the anesthesia department. // He asked / if I would like to work in the operating room / testing new medical equipment on high-risk patients. // This seemed interesting, / so I jumped at the chance. //

４ Within days / I was at Stanford, / getting up very early in the morning, / wearing a laboratory coat, / and monitoring surgical patients. // This experience was fascinating / in a million unexpected ways. // Once the project was over, / I managed to negotiate a job / as a research assistant in a neuroscience laboratory / and eventually applied to graduate school at Stanford. // I took a long path to reach my goal / that might look to others like a waste of time. // But this wasn’t the case at all. // Not only did the twists in my path give me a fresh perspective on my goals, / they also gave me time to experiment with options / that helped confirm / what I wanted to do. // Also, / this time / I was going to graduate school for myself, / not for others. //

　　　　　　　　　　　しかし大学院に戻る準備はできていなかった　　　　　　　　　　　　　　　　　その目的で

私は神経科学の教員リストを見つけ出し スタンフォード大学の

　　　　　　　　　　　それはそれほど離れていなかったのだが　　 そして一人一人に手紙を書いた　　　　　　　　　　私は彼らに伝えた

　自分の経歴を　　　　　　　　　　　　　そして私に研究職がないかどうか尋ねた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　その後数週間で

　　　　　　　　　　　　　　　彼ら全員から返事が来た　　　　　　　　　　　　　　　　　　　しかし誰も空きのある仕事の口をもっていなかった　　　　　　しかしながら　　　ある教員が私の手紙を回してくれ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私は電話を受けた

　　　　 麻酔学科の教授から　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 彼は尋ねてきた　 私が手術室で働く気はあるかどうか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　リスクの高い患者に新しい医療用機器をテストして

　　　　　　　　　　これは面白そうだった　　　　　　　　　　　そこで私はその機会に飛びついた

数日以内に 私はスタンフォードにいた　　　　朝とても早く起き　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実験着を着て

　　　　　　　　　　　　　　　　　外科の患者を監視していた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　この経験は魅力的であった

　　　　　　　　　　　　多くの予期せぬ点で　　　　　　　　　　　　　　　　　　プロジェクトが終わると　　　　　　　　　　　　　　私は仕事をなんとか交渉して手に入れ　　　　　　　　神経科学の研究室の研究助手としての

　結局スタンフォードの大学院に出願した　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　私は目的へ到達するための長い道のりを選んだ　　　　　　　　　 他人には時間の無駄のように見えるかもしれない　　　　　　　　　　　　　　　　　しかし，これはまったくそんなことではなかった　　　　　私の進路の曲り道は，自分の目標に関する新たな視点を私に与えてくれただけでなく

　　　　　　　　　　　　それらは私に選択肢を試す時間をも与えてくれた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　確認するのに役立つ

　　　　　　　　自分が何をしたいのかを　　　　　　　 さらに　　　このとき　　　　私は自分自身のために大学院へ行こうとしていた

　　　　　　　　　　 他人のためではなく